

〔別紙様式〕

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立中沢中学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体と部分との関係に注意して話を構成したり、話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較したりすることについては相当数の生徒が理解している。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の範囲での四則計算や、実生活の場面に結びつけての理解については相当数の生徒が理解している。 文字式の計算や等式の性質を基に方程式を解くことについては相当数の生徒が理解している。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする力については課題がある。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を用いて、数量の関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取る力や反比例のグラフから式を求める力については課題がある。 基本的な作図や近似値と誤差の意味の理解については課題がある。
B問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の展開に即して内容を理解することや目的に応じて文章を要約することについては相当数の生徒が理解している。 自分の考えを書くといった記述式の問いに対して、最後まで解答を書こうと努力している。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することについては相当数の生徒が理解している。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた情報の収集方法を考えることについては課題がある。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数関係を表す表から情報を適切に選択し、事象に対応させて捉えたり、事象を数学的に解釈することについては課題がある。 筋道を立てて考え、証明することや、新たに付加された条件の下で成り立つ事柄を考察する力については課題がある。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習では、教科書を使いながら、予習をしている生徒が多い。 総合的な学習への関心が高く、前向きに取り組んでいる生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の復習を家庭で行っている生徒が少ない。 学校で好きな授業があると答えている生徒が少ない。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 間違えた漢字を自分で訂正し、正しく覚え直す学習を徹底していく。また、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読み、なるべく多くの古典に親しむようにしていく。 インターネットばかりでなく、書籍からの情報収集をする学習等を取り入れていく。 文章構成をとらえるときに、中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨をとらえる学習を取り入れていく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートを活用方法など、学び方を育てる授業を引き続き行っていく。 授業改善の中で教科に興味関心をもち、課題解決をしていく授業展開を意識していく。 生徒が教師を信頼し、安心して授業が受けられるよう、個々の生徒に応じたきめ細かい指導を行っていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> 規範意識をもち、人の役に立つ人間になり、人が困っているときに進んで助けようという意識が低いので、人との関わりやコミュニケーションを大切に、将来、社会のルールを守り、夢や目標をもって社会貢献できる人になるよう家庭でも話す機会をもってください。 塾での学習だけを家庭学習と思わず、自ら課題を見つけ解決する学習を身につける後押しをしてください。 地域連絡会で学校の取り組みや現状を報告しますので、地域ぐるみで子どもを育てる声かけをお願いします。
